

日 時：平成28年1月27日(水) 15:00~16:45

場 所：市役所 442 会議室

1. 有識者会議意見の総合戦略素案への反映状況について
2. パブリックコメントの実施結果
3. 総合戦略素案へのご意見等
4. その他
  - ・ 地方創生に関する交付金の活用
  - ・ 設定した KPI の進捗管理
5. 閉 会

1. 有識者会議意見の素案への反映状況~2. パブリックコメントの実施結果について  
(進行役)

まず議題としては過去 2 回の会議内容が総合戦略素案に反映されているかの確認、またパブリックコメントの実施結果についてである。パブリックコメントでは 6 名 18 の意見が出された。基本目標に割り振って整理され、一つひとつに市の考えを記載している。素案に書いてあるというもの 2 件、反映して追加修正をしたものはなし、今後の参考にすることが 10 件、意見はもらったが対応が難しいものが 2 件、その他のものに分類している。この議題について何か意見はないか。

(委員)

6 名は少なくないか？女性がゼロというのは残念。

(市)

もう少し意見が多く出れば良かった。資料のボリュームが多かったからかもしれない。

3. 総合戦略素案へのご意見等について  
(進行役)

総合戦略素案について、項目を絞って意見を伺いたい。1 つ目は基本目標の産業支援について、2 つ目は大学との連携強化でインターンシップのことや 37 千人の学生をいかに活用するか、3 つ目はその他の項目について議論をお願いしたい。

(委員)

GDP の数値目標についてだが、水準が低くて違和感があった。市内従業者数などの目標値はわかるが、市内 GDP は H25⇒H31 で 2%の増しかなく、5 年では 2%の

増は自然増に見えてしまうので、市は何もしないように見える。数字を具体化していくのは大変だが、120%までは言わないが105%ぐらいにして、どの項目をどこまで高くするか、方向性を示すべき。

(市)

詳しい根拠を担当部局に確認し、整理したい。

(委員)

産業界と行政で連携して取り組むというのがあるが、企業の願いでは販路拡大、それからよい製品を作り出すことである。販路拡大のためには多くの事業者の魅力ある商品や技術を知ってもらう情報発信が重要。「産業フェア」などを開催して、希望を満たすというのが一つの手かと思う。よい製品を作るためには、自分のところの研究も大事だが、よい技術を持った企業や大学の知的資産との連携も大事。フェアやビジネスマッチングをすることが企業の成長にプラスになる。市民にも優れた商品などを知ってもらうことも産業振興につながる。このようなことが可能となる産業フェアが産業界と連携して増えていくとよい。

もう一つは人材確保だが、優秀な人材の確保が中小企業は困難。経営資源が乏しい中小企業が多いので、人材確保や定着、戦略化するための定着はおおきな経営課題。全方向性を持った人材育成課題があるが、産業界や大学、ハローワーク、商工会議所などと連携していくことが大事。就職面接会もしているが、希望としてこれらの連携を上げたい。

ワークライフバランスの推進は、育児休業や男性の育児休暇取得者がいる場合に補助金を支給する制度を設けていただくとよい。また競争入札参加資格者の物品や役務契約、工事契約の優遇制度を設けることも必要ではないか。取り組んでいる事業所を表彰：顕彰する、すばらしい取組みを顕彰することとともに情報発信できるとよい。

(委員)

現在の記載内容からは「どのような企業を応援するかは分析してみないと分からない」ように受け取れる。大体、目星がついているなら、「地域産業雇用創造チャート」を例示して、具体的に記載してほしい。後で分析して選ぶなら、「稼ぐ」、「雇用」の意味や基準が分かるようにしておくほうがよい。どんな支援をするかが書かれていない。

(進行役)

稼ぐ力とは何で、雇用力のどの部分をどう引き上げるか、明確に書かれていないと戦略にならない。GDPを高めることも同様で、どこに注目して、何を評価しようとしているのかが、ちょっと分かりにくいということに対して意見に対して市の考え方は。

(市)

総合戦略の参考資料において、産業、飲食良品関連事業、生活関連事業、教育関連事業等に特徴があると分析している。市内にいろいろの商品もあるが、西宮ブランドとして位置づけて発信していけば成長すると考えている。販路拡大もなかなか市内でつながっていない現状があるので、行政が結びつけることで成長する余地がある。

産業の特徴を明確にし、記載すべき点について再度整理する。

(委員)

ワークライフバランスでの育児支援と併せて介護支援も重要になってくる。育児支援は成長すると共に手が離れるが、介護は時間が読めないしどんどん大変になり、仕事で重要なポジションを持つ人がある日突然そうした状況になることを含めたワークライフバランスを考えていかなければならない。

育児や介護も一つであろうと思う。そのあたりを西宮の地域性を鑑みたシステム提案が出来ないか。それが産業支援にもなるし、企業への支援にもなる。働く場所や働きやすさになれば、人口も入ってくる。

(委員)

企業の定着をはかるのは大事。西宮浜、鳴尾浜は重要。面積に限りがあるのでなかなか工場が立地できない。例えば、容積率緩和などが出来ればもっと進出してくる。とても立地がよく、進出する企業がより増えると思うので検討してもらいたい。

西宮ブランドの構築はよい。地酒というと西宮の酒は入ってこない。ブランドとしてもっと売り出していくべきである。期間限定の酒などを一年中飲めるようにするなど、市がバックアップして、ぜひ西宮ブランドを構築してほしい。西宮市には、日本酒、スイーツなど、よいものがある。企業立地と西宮ブランドはもう少し具体化してほしい。

(委員)

灘五郷だと大きすぎる。宮水と山田錦ぐらいで地域イメージが無い。灘五郷も大きな所ばかりではないのでそこが一番気の毒。

(進行役)

地域ブランドの戦略は、ある地域で作られている食材や衣服をブランドとして売り出そうというのが以前にもあった（湘南ブランドとしてアピールした例）。そのときはあまりにも広すぎてつかみにくかったのが広がらなかったが、地域ブランドの話と西宮のイメージアップの話は、かなり関わるものである。全国から見ると、東灘や芦屋という区別はなく阪神間としてとらえられている。個別性を出すかエリア別で行くか、戦略的に色々考えて練っていただいたら。

(委員)

稼ぐ力では創業もあると思う。小さな店、女性の企業なども支援していくことも、集まれば数になる。産経リビングの調査では、西宮市は「暮らし心地のよい都市」も「これからも住みたい都市」も2位だった。この結果は、ライフスタイルに関して西宮市の良さがあることを表している。将来の起業家を目指す人のサポートや小さなお店を改善した人をもう少し大きなブランドに育てるなど将来的に育てていける場があればよいと思う。

(委員)

魅力ある企業へのワンストップ相談の充実について、踏み込んでいると思うが、行政だけでなく、支援機関との連携で構築した方が有効。産学連携も、産官学民、商店は民なので、そうした方がよいのでは。

企業創業支援も、創業間もない企業は資金的余裕もなく、一定期間の金銭的支援があれば。融資に対する利子補給や家賃補助など。組み込んでいるとは思いますが、そこがあると裾野拡大につながる。

(進行役)

続いて基本目標2「大学との連携強化」について、何か意見があれば。

(委員)

インターンシップについて、学生の意識の濃淡差がある。企業側は採用のためだけでなく社会貢献の意味もあってしている。主体性を持ってくる学生は新しい視点や発想も示してくれるが、来ただけの学生はお客様の人もいる。大学が送り出すに当たって、目的の明確化や事前教育をしっかりと、そのための情報提供を企業が大学にするという仕組みがいる。

(進行役)

どこの大学もプロジェクトベースラーニングなど、企業に学生を入れて学ばせる動きが盛ん。ただ学生の意識の差が大きい。研修もしているが、それだけでは追いつかない。行政が関わるとすると、インターンシップを進めるにあたっての双方への要望や注意点をまとめることなどが考えられる。

また、大学生の中には、企業に入って商品開発のマーケティングの手伝いをさせてもらえると勘違いしているケースもある。西宮水準のインターンシップの質を確保できるとよい。

(委員)

学生は、大学というよりゼミの先生次第である。同じ大学でも熱い先生のゼミの学生は熱く頑張るが、先生によって学生の温度差が全く異なる。

(進行役)

大学側は、ゼミで行っているもの、単位がもらえるもの、学生がサークル的に同好会で行っているものの3つがある。学生が自主的にサークル的にやっているもののほうが、頑張るケースがある。

(委員)

インターンではないが、学生が事務事業評価のサポーターをして、指標設定の検討をしながら行政の仕事の理解を深めているということをしている地域がある。いろいろな部署に行くと対応が違う。受け入れ側が、インターンシップの認識をしっかりとつべき。

(進行役)

総合戦略にインターンシップを位置づけるということの意味は何か。市が仲介など何らかの役割を担うという意味なのか。あるいは企業に様々な情報発信をするということなのか。今後、なんらかの指針を示すということか。市としての狙いが気になった。

(市)

市内の学生と市内の企業は、その視点でのつながりがないのではないと思う。もっとも近い存在なので、もっとお互いを知ればよいと思う。知ってもらう機会としてインターンシップを使い、その一つに、集約するハブ的な機能をどこかが持てばよいと思う。

学生に対し、西宮市に対する親和性を高めれば、将来的にその学生たちが西宮市の居住者になる可能性を生み出すことになる。インターンシップの導入が採用にどうつながるか、また、インターンシップが戦力化の場合は、誰でもいいということではなく戦力になる学生にきてもらわなくてはならない、といったコンセプトをはっきりさせてすべき。学校が多いまちなので、西宮発で何か新しいインターンシップを創出することは可能と考える。

(進行役)

マッチングのハブを市が主体的してもらえるのはありがたい。大きくない大学だと担当者の負担が大きくなる傾向がある。

(委員)

多くの学校が民間のマッチング業者に頼っている現状がある。公的な機関が地域に密着してすることに意味があると思う。

(進行役)

大学との連携では、海外の話もある。つまり留学生である。日本の企業文化や企業風土をもう少し詳しく学びたいという人は多い。中国系が圧倒的に多いが、中国系だけでなく、世界中で日本の企業の実態を勉強したいという人がかなり多い。大学生を、留學生まで枠を広げてみると、様々なおもしろい展開があると思う。

(委員)

空き家の活用につながるのではないか。留学生に空き家を貸すという方法が考えられる。

(委員)

関学では日本人の学生と留學生を一緒に住ませるといこともしている。

(委員)

留学する学生は裕福で、知的レベルも高い傾向がある。そうした人を自社に取り込むことで、海外戦略に組み入れやすい。他府県の学生を無理に住ませるより留學生を取り入れた方が、海外進出などで効果がある。こうしたことも市と一緒にするとよい。そっちの方がインターンシップより効果がある。

(進行役)

産業、大学以外で何か意見があれば。

(委員)

小中学生でもいいか。環境学習都市であることが西宮市の特徴で打ち出すべき。子どもの頃から教育に取り込んだカリキュラムを作ってほしい。環境の支援から西宮を知り、学ぶことで郷土愛を育成する。郷土愛から考え、出た答えを実践し、その課題をまた考えていくサイクルがあるとまちづくりのよい循環が生まれる。環境学習をすることで、そうした人格形成につながる。環境学習の学習を入れた意味を強調してほしい。

(進行役)

地域別（北部や鳴尾）の議論もしてきたが、地区別の課題で何かあれば。どうしても西宮の話をするとう市中心部の話になってしまう。いろいろな顔があると思う

ことをパッケージして、情報発信をするという視点があるとよい。

(委員)

休日の過ごし方の提案はいいが、もう少し、例みたいなものがかかれたらどうかと思う。

地域特性を踏まえた話のところで、自治会への支援が書かれているが、自治会以外にも自主防災組織や防犯組織、お祭りのような地域文化などがあると思うが、そういったものを通じた取組みもあれば。防災活動を通じたコミュニティ、文化を通じたコミュニティ、特定目的の方が参加しやすいのであれば、子育ての子どもの見守り活動などを支援していくことも含めて、地域活動の支援を掲げてはどうか。

(委員)

北部の空き家増加があると言うが、ちょっとした別荘的に市内で使用するということが出来れば、自宅とその家の両方を管理してもらえる。

湯川先生の名前で賞を出す、芸文センターがあるので音楽で賞を与えることで世界的な賞に育てていければ、西宮を世界に発信できる。

パブコメの6名について、書かれているのは高齢の方が多く、若手はノーアクション。関心がないかもしれないが、文句をいうのでもよいのに投稿しない。関心を持ってもらうための情報発信が重要。

(進行役)

議論いただきたい点と、それ以外もいくつかの視点で新しい意見を出していただいた。現在の素案でメッセージがきちんと外部に伝わるか、職員で共有できるかが重要である。ほとんどのことは記載されていると思うが、きちんとアトラクティブになっているか、メリハリがついているか、再度チェックしてほしい。まさに戦略として使えるようにしてほしい。

#### 4. その他

(市)

今後は意見を踏まえて再度調整をし、パブコメと併せて報告する予定。  
国から地方創成加速化交付金が示されていて、全国で1千億円、先駆性のある事業で活用できる複数の連携をする事業について採択されるので、応募していきたい。総合戦略のKPIの達成状況の検証が必要。

(進行役)

GDPはKPIか？

(市)

単年度で結果が出るとは限らないので、毎年出すとは限らない。はかれるものは毎年進捗をみる。

(進行役)

戦略と言うからには、「何を一番達成したいか」、「達成したいことがクリアに分かる指標は何か」が大事である。様々な指標が書かれているが、「この指標を見れば市のやりたいことがよく分かる」というものがよい。戦略が市民によく伝わり、職員が目標にできるものがよい。

(委員)

西宮市に限ったことではないが、防災など市民の安全、安心に関わるものは、項目に入れなくてよいのか。

(進行役)

西宮市の住みやすさ、特に文教住宅都市をアピールするうえで、安全、安心を自慢すべきものとするなら、そのような指標も必要である。今までの熱心なご意見が、できるだけ反映されるとよいと思う。

## 5. 閉会

市より挨拶

以 上